

今、何の病気が流行しているか！



KAWASAKI CITY

【感染症発生動向調査事業から】

平成27年8月31日（月）～平成27年9月6日（日）〔第36週〕の感染症発生状況

第36週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)手足口病 2)感染性胃腸炎 3)ヘルパンギーナでした。

手足口病の定点当たり患者報告数は5.73人と前週（6.88人）から減少しましたが、例年より高いレベルで推移しています。

感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は4.82人と前週（3.16人）から増加し、例年より高いレベルで推移しています。

ヘルパンギーナの定点当たり患者報告数は1.48人と前週（2.03人）から減少し、ほぼ例年並みのレベルで推移しています。



今年の冬はノロウイルスにご注意！

ノロウイルスは、冬季の感染性胃腸炎の主な原因であり、変異しやすいウイルスです。川崎市健康安全研究所では、昨年3月に新たなタイプのノロウイルス（GII.17 変異株）を発見し、今年1月頃から同ウイルスの検出数が増加していることを確認しています。

今後、新たなタイプのノロウイルスによる感染性胃腸炎が流行した場合、ほとんどの人が免疫を持っていないため、大きな流行となる可能性があります。

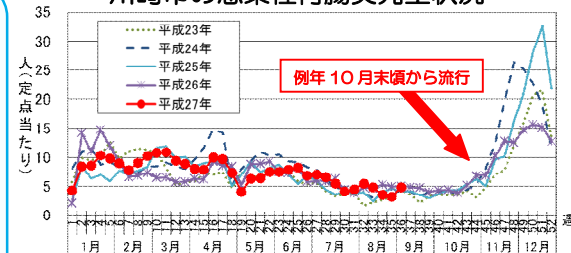
ノロウイルス「GII.17」とは？

これまで主に確認されてきたノロウイルスのタイプは「GII.4」でしたが、昨シーズンから全国的に「GII.17」の検出数が増え始めました。

すでに「GII.4」に対する免疫を持っている方でも、「GII.17」に対してはその免疫が効かないため、多くの方が感染する可能性があります。

今年の冬は特に、ノロウイルスの流行状況に注意するとともに、予防対策を徹底してください。

川崎市の感染性胃腸炎発生状況



<予防のポイント>

- こまめな手洗い
- 患者の便やおう吐物の適切な処理・消毒
- 食品の十分な加熱

